



幸手市議会議員 本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL: 080-5137-4539

幸せの手

発行：本田ようこ後援会

令和7年3月議会 本田ようこ一般質問報告の一部です。

市のSNSは災害時対応も準備されているのでしょうか



SNS：ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、オンライン上で人々をつなぎ、情報を共有するための土台です。

幸手市では、幸手市公式 LINE、幸手市公式 X(旧 Twitter)、幸手市公式 Instagram、幸手市公式 クックパット、幸手市公式 note「このまちが好き 幸手市」、幸手市公式 Facebook があります。
その中で、災害に関し使う SNS は、幸手市公式 Line、X、Facebook です。

Q：災害時の SNS に対する対応マニュアルはありますか。

A：ありません。

↓
これまで以上に速く正確に情報を伝えるため、指針やマニュアルを策定します。

本田は思う → 現在、災害などが起きると、身近なスマホなどで情報を確認することが多くなりました。情報を提供する幸手市側の対応は、日頃からの準備が必要です。市民の安全安心のため、早期確立を願います。

報告 皆様のご協力のお陰で実現しました

東公民館の自動販売機設置



突然撤去され、猛暑や避難時にどう対応するのかと質問しました。担当職員や社会福祉協議会の方々の努力下、自動販売機が設置されました。東公民館へお寄りの際はご利用ください。

相談受付カウンターの仕切り設置



何もない見晴らしの良いカウンターでは、他人の話も筒抜けであることから提案しました。カードコーナーに仕切りが設置。他の場所にも仕切りが設置されると良いですね。

桜まつりのスマホによる駐車場情報



桜まつりの渋滞時について、スマホ時代にどの駐車場が空いているのか調べられれば、と提案しました。今年から外部の駐車場の空き状況がわかるようになりました。

報告 埼玉新聞(2月28日付)記事より「不起訴」となりました。

市職員に暴行疑い
幸手市議不起訴
さいたま地検

幸手市の藤沼貢市議(82)が2023年12月、同市議会の議場で市元幹部の男性に暴行を加えてけがを負わせたとして、昨年5月に傷害と公務執行妨害の疑いで書類送検された事件で、さいたま地検は27日、不起訴処分とした。処分理由は明らかにしていない。

市によると、藤沼市議は23年12月1日、議会本会議場で昼休憩に入った直後、元幹部の首を殴打しつかむ暴行を加えていたという。元幹部は首を捻挫し、約3週間のけがを負っていた。

特集1 皆さんが納める学校給食費は「食材料費」です

学校給食費については、学校給食法第11条に規定されています。
学校給食の実施に必要な施設設備費、学校給食に従事する職員の人件費、修繕費は、義務教育諸学校の設置者の負担とし、それ以外の経費は保護者負担としています。

人件費（調理師さんや栄養士さん等）
修繕費（調理器具等）
光熱費（水道・ガス・電気第等）
食材料費

設置者（幸手市）
保護者



令和5年度学校給食調理コンクールにて「埼玉県・さいたま市教育委員会教育長賞」を受賞

本田は思う

30数年前、幸手市に移住して、自校式給食に親子共々感激。
これは幸手の誇りそのものです。

現在の給食費は

小学校：1か月/1人 4,800円（うち500円は市補助）

中学校：1か月/1人 5,430円（うち530円は市補助）

1人当たり1食、小学校→289円、中学校→334円



幸手市学校給食（自校式給食）の魅力

- ・栄養士が1校に1人を配置
- ・温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、出来立ての給食を提供、なので、とても美味しい給食と評判です
- ・調理中のよい香りが子どもたちに届くことで、給食時間が楽しみに
- ・地場産野菜を使用、幸手産の美味しいお米を提供
- ・自分たちで育てた野菜を使って給食に提供、食農教育の充実
- ・クラスの実態に合った量を提供、欠席にも柔軟に対応できることから、廃棄分を少なくする事ができる

特集2 防災：南海トラフ地震は他人事ではありません

南海トラフ地震：南海トラフ地震の想定震源域は東海から九州の太平洋沖とされ、100年から150年ほどの間隔で、繰り返し巨大地震が起きていました。

今後30年以内に80%程度の確率で起きるとされています。

2025年3月に新たな被害想定を、政府の作業部会は発表しました。

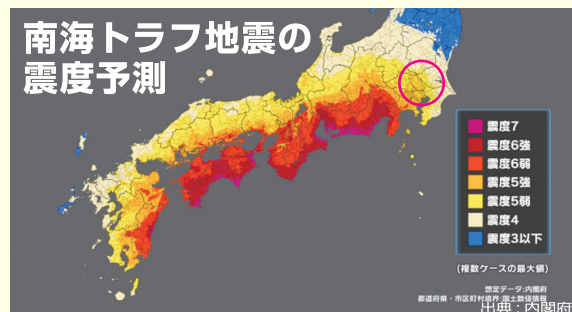
国が指定する南海トラフ地震防災対策推進地域に埼玉県は含まれていないものの、県南部で震度5強、県内の広い範囲で震度5弱の地震発生が想定される。

（埼玉新聞 2025/04/01 より）

これは、みなさんも経験した東日本大震災時の幸手の揺れと同じくらいです。

日頃から災害に備えて準備することをお願い致します。先ずは、自分の命を守ること。そして、生き延びる為の準備を怠らずに。

地震はいつやってくるのかわかりません。



幸手は震度5強の予測が出ています。日頃からの備えをお願いします。



ぜひ、見てください

避難しない避難“在宅避難”とは

災害が起きた時に、自宅で身の安全が確保され引き続き住める場合には、自宅で避難生活を送ることを言います。

『避難とは「難」を「避ける」こと』ですので、避難所へ行くことだけが避難ではないのです。

もちろん、家屋倒壊（余震で倒壊の危険）や火災などで、自宅での生活が無理になった場合は別です。

避難所は共同生活だからストレスが溜まるし、感染症リスクも大きいですね。そんな避難所に行かなくても、自宅で避難生活が送れるよう日頃からその備えをしておく。それが、在宅避難というわけです。

また、避難所へ入れるのは約2～3割の人々だけです。実際に避難所生活をしなければならない方々のためにも、可能なら「在宅避難」を考えましょう。



幸せの手61号に水害時ではありますが避難所の入所可能人数を掲載しています。

